

TS-2950 リリースノート

Ver3.1.10 (2018/7/24)

【機能追加】

①	概要	VR装置冗長機能を追加
	内容	・TS-2950-20にて映像同期信号に同期する場合、TS-2950-20間で時刻同期する機能を追加

【機能改善】

①	概要	1PPS出力タイミングの精度向上
	内容	・GPS同期時の1PPS出力タイミングの精度を向上

【不具合改修】

①	概要	GPS機能の不具合を修正
	内容	・GPS信号を正常に受信しているも、稀にGPSの状態が更新されず、時刻が更新されないことがある不具合を修正 ・GPSの同期維持時間で不正な値が表示される場合がある不具合を修正
②	概要	CLIコマンドの不具合を修正
	内容	・CLIコマンドを実行すると、稀に「Internal error」が表示される不具合を修正
③	概要	PTP機能の不具合を修正
	内容	・PTPのAnnounceメッセージのReserved領域に、不正な値が乗る場合がある不具合を修正

Ver3.0.20 (2018/5/10)

【機能改善】

①	概要	時刻調整量の最大値を500ppmに変更
	内容	・Slew動作時のNTPによる時刻調整量の最大値を500ppmに変更

【不具合改修】

①	概要	WEB機能の不具合を修正
	内容	・光テレホンJJYの設定で、接続基準時刻の設定が出来ない不具合を修正 ・ベスト・マスター・クロック・アルゴリズム設定で、priorityに数値以外の不正な値を入力できる不具合を修正 ・位相源がtimesrcに設定している場合、リロードにて本来設定出来ない\gpsが選択できてしまう不具合を修正
②	概要	うるう秒アジャスト処理の不具合を修正
	内容	・うるう秒アジャスト動作中に、NTPがSTEP動作する場合がある不具合を修正
③	概要	コンソールに不要なログが出力される不具合を修正
	内容	・前面パネルからshutdownを実行すると、コンソールに不要なログが出力される不具合を修正
④	概要	GPSのケーブル遅延設定が反映されない不具合を修正
	内容	・GPS同期状態でGPSケーブル遅延値が16nsec以内の場合、時刻に補正値が反映されない場合がある不具合を修正

【機能追加】

①	概要	新製品TS-2950-20リリース
	内容	・装置型番TS-2950-20に対応 TS-2950-20は、映像同期信号入力インタフェースを装備
②	概要	位相源の選択機能を追加
	内容	・時刻源または映像同期信号から選択可能 映像同期信号選択時は、時刻源としてGPS は利用できません

【機能改善】

①	概要	PTP機能のパフォーマンス改善
	内容	・Slaveの対地数を増やした時のPTP処理のパフォーマンスが向上するように改善

【不具合改修】

①	概要	WEB機能の不具合を修正
	内容	・光テレホンJJY設定で、同期維持時間と接続間隔が正常に設定されず、エラー画面が表示される場合がある不具合を修正 ・PTP設定で、logAnnounceIntervalを設定すると、設定は反映されるがエラー画面が表示される不具合を修正 ・TOP画面に周波数源が表示されない不具合を修正 ・タイムゾーンの設定ページで、タイムゾーンを「UTC-06:00 CST6CDT」に設定すると、エラー画面が表示され設定に失敗する不具合を修正
②	概要	PTP機能の不具合修正
	内容	・SMPTE 2059プロファイルを選択してDaily Jamを有効にした時、timeOfPreviousJamの初期値が0となる不具合を修正
③	概要	システム起動後に、GPSと同期出来ない不具合を修正
	内容	・システム起動時、稀にGPSDOの初期化に失敗し、GPS同期出来ない不具合を修正
④	概要	SYSLOGメッセージ送信時の動作不具合を修正
	内容	・時刻源に同期した状態で、稀に「TS-2950 synchronized to NTP」というsyslogが表示される不具合を修正
⑤	概要	システム起動異常不具合を修正
	内容	・システムが稀に正常に起動せず、フロントパネルにInitializingが表示されたままになる不具合を修正
⑥	概要	LED1が点灯しない不具合を修正
	内容	・稀にエラーLED1が点灯しない不具合を修正
⑦	概要	脆弱性対応
	内容	・CVE-2017-6214 net/ipv4/tcp.cのtcp_splice_read 関数におけるサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性に対応

【機能追加】

- | | | |
|---|----|--|
| ① | 概要 | 新製品TS-2950-10リリース |
| | 内容 | ・装置型番TS-2950-10に対応
TS-2950-10は、標準時計装置(ToD)インタフェースと10MHz入力インターフェースを装備
時刻源としてToDに対応。また、本装置の時計の周波数源として外部10MHzに対応 |
| ② | 概要 | 光テレホンJJY対応 |
| | 内容 | ・時刻源として光テレホンJJYに対応 |
| ③ | 概要 | 時刻源の優先順位を設定する機能を追加 |
| | 内容 | ・GPS、光テレホンJJY、標準時計装置、内蔵時計から参照元として使用する同期源の候補を選定し、優先順位を設定する機能を追加 |
| ④ | 概要 | 強制同期機能追加 |
| | 内容 | ・参照元として使用する全ての時刻源が非同期状態においても、同期状態を継続する機能を追加
参照元として時刻源が選択されていない場合においても、内蔵時計で同期状態になります |
| ⑤ | 概要 | 時刻源自動切り機能追加 |
| | 内容 | ・優先順位が高い時刻源が非同期状態になると、次に優先順位が高い時刻源に遷移しますが、切り戻りは発生しません
切り戻り設定を有効にする事で、自動で切り戻す事が可能になります |
| ⑥ | 概要 | 同期源の閉塞機能追加 |
| | 内容 | ・同期源を閉塞して、一時的に参照対象から除外する機能を追加
閉塞状態の同期源は非同期状態と同じ扱いになります |
| ⑦ | 概要 | うるう秒手動設定機能追加 |
| | 内容 | ・うるう秒情報が時刻源から得られない場合、うるう秒の実施時期を年月で設定できる機能を追加
うるう実施月は、3月、6月、9月、12月のみ指定可能
(いずれの月設定も月末日に指定されます。例:6月設定時は6月30日となり、日本標準時では7月1日の午前9時にうるう秒が実施されます) |
| ⑧ | 概要 | UTCオフセット値の設定機能を追加 |
| | 内容 | ・UTCオフセット値(TAIとUTCに時間差)を設定できる機能を追加 |
| ⑨ | 概要 | PTPデータセット機能を拡張 |
| | 内容 | ・GPS以外の同期源を使用する場合のclockClass、clockAccuracy、clockVariance、timeSourceの値を、同期状態(SYNC、HOLDOVER)に応じた値を設定できる機能を追加 |

【機能改善】

- | | | |
|---|----|-----------------------------------|
| ① | 概要 | システム起動時のハードウェアチェックの強化 |
| | 内容 | ・システム起動時、ハードウェアに異常がないかチェックする機能を強化 |

【不具合改修】

- | | | |
|---|----|---|
| ① | 概要 | WEB機能の不具合を修正 |
| | 内容 | ・本装置が高負荷の状態でも稀にWEBからの設定に失敗する不具合を修正
・設定初期化を実施後、言語設定が正しく表示されない不具合を修正
・設定初期化を実施後、時刻設定が正しく設定できない場合がある不具合を修正 |
| ② | 概要 | ToDのジャストタイム出力の不具合を修正 |
| | 内容 | ・ToDのジャストタイム出力の末尾に余分なデータを出力してしまう不具合を修正 |
| ③ | 概要 | PTP機能の不具合を修正 |
| | 内容 | ・show ptp datasets で表示する文字列の一部で不正な情報を表示してしまう不具合を修正 |

Ver1.2.10 (2017/9/27)**【機能追加】**

①	概要	PTP SMPTE2059-2 Profile対応
	内容	・PTP Profileとして新たにSMPTE 2059-2に対応
②	概要	PTPデータセット設定機能を追加
	内容	・各PTPクロック情報の設定を、初期、非同期、ローカルクロック、同期状態毎にユーザが任意に設定できる機能を追加
③	概要	強制パルス出力機能を追加
	内容	・非同期状態においても外部パルス出力を可能にする設定を追加
④	概要	受信しているGPS衛星の衛星番号等の情報を追加
	内容	・WEB管理画面上より受信しているGPS衛星の衛星番号を表示できるように変更 ・CLIから受信しているGPS衛星の衛星番号および、仰角、方位角、CN比、状態を表示するコマンドを追加

【機能改善】

①	概要	syslog機能変更
	内容	・「no logging trap」コマンドの初期値をinfoからwarningに変更 ・syslogサーバに転送するkernelログをkern.debugからkern.infoに変更

【不具合改修】

①	概要	NTP脆弱性対応
	内容	・2016年4月以降に発表されたntp-4.2.8p7～4.2.8p10にて対策された脆弱性に対応
②	概要	SNMP機能の不具合を修正
	内容	・PTP disable状態でSNMPマネージャからアクセスすると、TS-PTP-BASE-MIB::tsPtpBaseClockPortDSSStateLastChangeで正しくないデータを返す不具合を修正 ・TS-GNSS-BASE-MIB::tsGnssBaseSyncStateLastChangeで本来返すデータのサイズよりも大きいデータを返す不具合を修正 ・マネージャからsnmpコマンドを実行すると、コマンドにエラーが表示される不具合を修正
③	概要	IPv6リンクローカルアドレス関連の不具合を修正
	内容	・IPv6アドレスをパラメータとしてもつ設定項目において、スコープIDを付与したIPv6リンクローカルアドレスを設定すると、コマンドNGやIPv6通信エラーになる不具合を修正
④	概要	PTP機能の不具合を修正
	内容	・PTPの統計値がマイナス表示になる不具合を修正 ・PTPデータセットの表示において、clockClassなどの値に対応する文字列が正しく表示されない不具合を修正 ・MASTER状態で自装置のclockClassが変化した時に、即座にPASSIVE状態に遷移してしまう場合がある不具合を修正
⑤	概要	LANコントローラの割り込み停止不具合を修正
	内容	・ごく稀にLANコントローラの割り込み停止が発生する不具合について、発生を抑制するように改善

Ver1.1.20 (2016/11/25)**【機能追加】**

①	概要	SHA-2証明書対応
	内容	・本機器のWEB管理画面へのHTTPSアクセスについて、SHA-2に対応

Ver1.1.10 (2016/11/4)**【機能追加】**

①	概要	PTP L2マルチキャスト機能追加
	内容	・PTPプロトコルとしてEthernetに対応

【機能改善】

①	概要	1PPS出力タイミングの変更
	内容	・GPSから取得した時刻情報に対して1PPS信号の出力タイミングを改善
②	概要	PTPパケットの時刻精度の改善
	内容	・PTPパケットに対するタイムスタンプの打刻位置を調整し、PTPパケットの時刻精度を改善

【不具合改修】

①	概要	うるう秒のアジャスト機能不具合を修正
	内容	・アジャスト設定時、うるう秒調整日前日に動作してしまう不具合を修正 ・アジャスト設定時に、アジャスト/即時の両方が同時に動作してしまう不具合を修正
②	概要	syslog機能の不具合を修正
	内容	・syslogを大量に出力するとsyslog機能が停止しログを出力しなくなる不具合を修正
③	概要	PTP機能の不具合を修正
	内容	・PTP動作中にLAN1ポートでリンクのダウン/アップが発生すると、稀にPTP機能が正常に動作しなくなる不具合を修正
④	概要	WEBからのファームウェア更新誤操作により装置が起動しなくなる不具合を修正
	内容	・WEBのインポート機能から誤ってファームウェア更新を行い、その後アップデート機能からファームウェア更新するとファームウェアの更新が正常に行われず、装置が起動しなくなる不具合を修正
⑤	概要	CLIのインポートコマンド不具合を修正
	内容	・CLIからimportコマンドでファームウェアの更新時に、ファイル転送で再送が発生するとimportコマンドが終了しない場合がある不具合を修正

Ver1.0.20 (2016/6/30)**【機能追加】**

①	概要	GUI接続の機能追加
	内容	・本機器のWEB管理画面へのHTTPSアクセスについてTLS1.2での接続に対応

【不具合改修】

①	概要	NTP脆弱性対応
	内容	・2016年1月までに発表された脆弱性の対策

Ver1.0.10 (2016/2/8)**【新規リリース】**